

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会福祉	学科
担当科目	社会福祉学基礎演習 I		

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

秋学期にも春学期と同じように発表とディスカッションを主としてしました。春学期は主に各自興味のある福祉関係の新聞記事を持ってきて、発表しましたが、今学期は研究発表という形式で二人が一組になって、それぞれ関心ある分野の本を一冊選び、その本についてクラスのみんなに紹介しました。毎週二組ずつ発表をし、またその内容に関してみんなでディスカッションしながら、さらに理解を深めて行きました。地域福祉、うつ病、医療ソーシャルワーカー、児童虐待、動物療法などのいろいろなテーマで発表してくれてとても興味深く聞いていました。

みんなの発表の内容がかなり深く、特に自分が詳しくないテーマに関しては事前に調べなかったら、ディスカッションのとき、発言することが難しい時もありました。また、一回生から質問を受けたりするので、そのときにも対応できるようにするためにはいろいろ調べていかなければいけなかったのも、とても勉強になりました。また、しっかりとした意見を持って自発的に動く一回生の姿を見て刺激を受けました。

そして、全体クラスで今回は4回生のチューターが各自の卒業論文について発表をしました。卒論のテーマからそのテーマ設定への動機や論文の内容、卒論を書きながら苦労したこと、書き上げでの感想、一回生へのアドバイスなどに関して発表を行いました。

一年間チューターとして授業に参加し、みんなの発表の内容やそれぞれの意見を楽しみにしていて、毎回の授業に楽しく参加させていただきました。毎回活動報告書を書きながら、一回一回の授業を振り返ってみることは反省や改善することなどについて考える機会となりよかったと思います。しかし、秋学期にはもっとみんなと話す機会をつくって、いろいろな話をしてみたかったが、結局できなかったことが心残りですが、一年間いろんな気づきや学ぶことができ、今回学んだことや気付きを大事にし、これからも頑張っていきたいと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>